香川短期大学公開講座

地域は消滅するか？

ー近世の讃岐と現代の社会変動の資料から地方の今後を読み解く

講座概要：１０年後、２０年後、少子高齢化が進み、香川県は、私たちの住んでいる町は、どうなるのか？。『地方消滅』を中心とする日本創成会議のリポート（通称「増田リポート」）を批判的に検証しつつ、今後の地域社会の課題を探ります。また、視野を歴史の分野に広げ、近世讃岐における街の形成に関しての最新の研究を踏まえ、讃岐の街がそもそもどのような歴史を歩んで発展してきたのか、そのルーツをたどることで、今後の地域社会の課題を読み解くヒントにします。

コーディネーター：中俣保志（香川短期大学生活文化学科教授）
ゲスト講師　　：佐藤竜馬（香川県埋蔵文化財センター）
日　程：２０１５年1月２４日（土）１３時開始　１６時終了（開場１２時３０分）
会　場：香川短期大学渚荘（香川県綾歌郡宇多津町浜一番町１０番地–１）
資料代：２００円
問い合わせ先：香川短期大学
TEL:0877-49-5500（短大代表）
香川短期大学地域交流センター
TEL:0877-49-8053（直通）午後のみ

当日プログラム

第一部：今後地域は消滅するか？「地域消滅」論の解説と批判的検証
１３時～１３時５０分
（講師:中俣保志）
休憩（１０分）
第二部：近世における讃岐の中核都市と「人口集中」の新事実
１４時～１４時５０分
（講師：佐藤竜馬（香川県埋蔵文化財センター専門職員））
休憩（１０分）
第三講：まとめと質疑応答
１５時～１５時５０分

ゲスト講師プロフィール
佐藤　竜馬 氏
香川県埋蔵文化財センター等で専門職員として国府の確定など、県内の歴史的な資料蒐集に携わる一方、歴史博物館で行われた丹下健三展や、観光交流局が始めた街歩き事業で該当地域の地域ガイドの育成にもかかわる。2010年から宇多津町の新宇多津町史編集委員として町史の編纂で中心的な役割を担う。

香川短期大学渚荘　インターネット地図情報
地図情報短縮URL→　http://goo.gl/sFWKHC　　地図情報QRコード↓